

## 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

- ア 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券・・・移動平均法による原価法により評価している。
- イ 固定資産の減価償却の方法
  - (ア) 什器備品  
定額法によっている。
  - (イ) リース資産  
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- ウ 引当金の計上基準  
賞与引当金  
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- エ 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	184,100	0	0	184,100
投資有価証券	218,085,900	0	0	218,085,900
小計	218,270,000	0	0	218,270,000
特定資産				
スポーツ振興 基金積立資産	1,938,392	0	0	1,938,392
小計	1,938,392	0	0	1,938,392
合計	220,208,392	0	0	220,208,392

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	184,100	( 184,100 )	( 0 )	—
投資有価証券	218,085,900	(218,085,900)	( 0 )	—
小計	218,270,000	(218,270,000)	( 0 )	—
特定資産				
スポーツ振興 基金積立資産	1,938,392	( 0 )	( 1,938,392 )	—
小計	1,938,392	( 0 )	( 1,938,392 )	—
合計	220,208,392	(218,270,000)	( 1,938,392 )	—

(4) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	640,500	107,462	533,038
リース資産	7,570,980	1,514,196	6,056,784
合計	8,211,480	1,621,658	6,589,822

(5) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
福岡市平成19年度第5回 公募公債（10年）	99,930,000	106,600,000	6,670,000
福岡市平成21年度第7回 公募公債（5年）	49,990,000	50,425,000	435,000
福岡市平成22年度第9回 公募公債（10年）	68,165,900	73,205,880	5,039,980
合計	218,085,900	230,230,880	12,144,980

(6) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の 名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対 照表上 の記載 区分
補助金 受取補助金	福岡市	0	31,091,604	31,091,604	0	—
地域スポーツ振 興助成事業補助 金	(公財)福岡県体 育協会	0	330,000	330,000	0	—
合計		0	31,421,604	31,421,604	0	

(7) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

総合西市民プールにおける水泳競技処理コンピューター装置及びソフトウェアである。